

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、世界初の磁性材料フェライトの工業化を目的として 1935 年(昭和 10 年)に設立され、「創造によって文化、産業に貢献する」という創業の精神に基づき、受動部品、磁気応用製品及びフィルム応用製品等の製品の研究開発と商品化に取り組んでおります。

今後も活力あふれる会社であり続けるために、常に新しい発想とたゆまぬチャレンジ精神によって、株主、顧客、取引先、従業員、地域社会というすべてのステークホルダーに、より高い企業価値を提供し続ける企業でなければならないと考えております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは経営の基本方針を具現化してゆくため、具体的に次の項目を指標として事業活動を展開しております。

(基本となる重要な経営指標)

* TVA(TDK Value Added)

TVA は事業活動によって企業が新たに創造した付加価値を計る指標であり、経営上の重要な判断指標として採用しております。

TVA とは投下資本に見合った収益状況を示す当社グループ独自の付加価値指標で、利払前税引後利益と資本コスト(株主資本+有利子負債)を比較する指標です。

(環境を管理する指標)

* 二酸化炭素排出量削減目標

当社グループが地球環境との共生を推進するための環境活動における行動計画として、二酸化炭素排出量の削減目標を設定しております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社は 2013 年 3 月期を初年度とする中期 3 カ年計画を策定、実行中です。同中期計画におきましては、次の 4 点を重点施策と定め、これらを具体的な活動計画に展開し、実行しております。すなわち、(1)さらなる成長の確保 (次世代情報通信市場、エネルギー関連市場を新たに中期の重点市場と位置づける) (2)選択と集中の徹底 (重点成長市場において特徴ある製品事業を展開すべく、選択と集中を徹底し、明確な競争優位性を確立する) (3)市場ニーズに立脚したイノベーション (重点市場分野、重点セットのマーケティング機能、及びグローバル重点顧客とのインターフェースを強化し、タイムリーな新製品創出と市場ポジションの向上を実現する) (4)経営のスピードアップ (市場変化への対応を素早く実行すべく、資産効率の向上、人材・拠点の最適化、組織・ビジネスプロセスの簡素化、全業務リードタイムの短縮を徹底する)、の 4 点です。

これらの施策を実行することで強固な収益基盤の上に独自技術に立脚した特長ある製品や環境に配慮した製品の開発・生産を通して、顧客に認められる価値を提案・提供し、電子部品業界におけるグローバルリーディング企業を目指します。

(4) 会社の対処すべき課題

2012 年 3 月期における当社グループをとりまく事業環境は様々な要因によりめまぐるしく変化いたしました。東日本大震災後のサプライチェーンの混乱や停電、タイで発生した洪水による顧客及び当社グループ事業所の被災、1 ドル 80 円を超える歴史的な円高水準の継続やマクロ経済の減速などの不安定な世界景気動向のみならず、当社グループの主力事業の一つであるHDD用ヘッドを含む記録デバイス事業と密接に係るHDDメーカー同士による業界再編が発生しました。2013 年 3 月期以降も大規模な自然災害発生リスクやエレクトロニクス市場のめまぐるしい変化を想定する必要があると認識し、いかなる環境下においても健全な収益構造を維持するための諸施策を実施するとともに、成長戦略を実行し、その結果として企業体質の強化、改善を目指すことが喫緊の課題であると捉えております。

当社グループは2013 年 3 月期を初年度する 3 ヶ年計画において、次世代情報通信市場、エネルギー関連市場を最重点市場と据え、取り組みを強化しております。高い成長が見込まれるこれらの分野において、同業他社とは差別化したTDKらしい製品を提供し続けることにより、持続的な成長と企業価値の拡大を目指してまいります。

事業強化にあたっては環境の側面にも配慮し、顧客要求・社会動向（省エネルギー、法規制遵守、安全等）に適合した製品を供給してゆくとともに、企業活動で生じる環境負荷の低減（二酸化炭素の排出量削減等）を進めてまいります。このように企業市民として社会と共生することの大切さを改めて認識し、国内外の諸法規を遵守し、コーポレートガバナンスの一層の充実を図ってまいります。